

JCOMM富山  
20120804

# 記憶と公共交通

森栗茂一

(大阪大学・コミュニケーションデザイン・センター)

# MMは唯一絶対の説得ツールか？

CO2削減の説得力

電気自動車・低燃費車  
ならどうなのか？

健康維持は、論理として納得できるが

【厚生労働省40歳以上のコホート研究】  
統計上（遺伝を除く）、生活習慣病・三  
大疾病予防に影響を及ぼすものは？  
ストレス > 食物摂取 > 適度な運動

政府を支える多くの国民はどう思っているか？

高速道路無料化、ガソリン  
税減税、エコカー減税

道路関連税軽減or道路用途  
限定署名運動[JAF]

過疎地交通確保維持

→条件付き

中心市街地活性化

→努力しない商店  
街に無駄金投入

地域交通計画

→無駄

MMが労組に抵  
抗される理由は、  
ここにある

# 中心市街地交通確保論拠は、論争に勝て！

①中心地市街地高齢者等マイノリティの移動確保 **(交通権)**

②中心市街地におけるクルマ以外の複数移動手段の確保は都市の幸福 **(公共性)**

③中心市街地に来る観光客の移動確保、利便 **(経済性)**

⇒公共交通のみが効率的移動確保とは限らない

=STS (福祉)

→移動福祉として、敬老パス予算を使わせる

⇒公共性確保として公共交通は唯一絶対か？

=タクシーで充分！

→タクシーを公共交通と位置づける山口市

⇒経済性の論拠が不明確

→都市価値向上の意味

JCOMMの議論は、多数議論ではない。  
世の中は道路第一

公共交通もあればあったほうが  
良い。カネの要る事はできんか  
ら、MM でも、やってみたら？

世の中

※ 森市長は特殊解  
⇒ 多数派ではない。他にはいない。

## ① 非合理的判断 ≤ 葛藤 ≤ 合理的消費

「人は、消費のための合理性のみで行動するのではない。人は、消費のための惰性としての個人行動と、生きるための記憶との葛藤で動いている。クルマとコンビニの生活が楽だと思って暮らしつつ、優しい女性に出会えば、うっかり結婚行動に出る」

## ② 非合理的判断（創造行動）の機会

＝記憶（喪失）の危機

「記憶の喪失感・危機感のあるときしか、人は記憶に価値を認めない」 ex.災害ユートピア

命題：記憶に対する価値判断

現代日本都市は、記憶の危機に満ち溢れている。

消費だけでは、都市価値が維持できないことは、うすうす感じている。



伝える側の戦略不足では？

これが我々の夢だったのか？

# 記憶の危機

愛と渴望⇒フェティッシュ（モノ）

ex.廃線式に集まる鉄ちゃん

名建築建替反対運動の盛り上がり



## 都市の記憶

(A)都市の自然的景観

(B)都市の長い歴史を経た文化的景観

(C)個人的な都市の場所に関する生活景観



都市の記憶 = (A) × (B) × (C)

個人の人生と、個人の未生以前の多くの時間と思いを織り込んだ中心市街地の景観（自然・文化・生活）における、共有する移動手段（公共交通）を交えたコミュニケーションの記憶は、都市価値・生活価値を決定する  
⇒総合交通まちづくりは「都市記憶」の再生  
コミバスやデマンドなどモード計画ではない

**MMこそが都市構築の本道**

※SCの個人記憶はこの生活の記憶には及ばない

# 人の価値原理

## 行動原理

- 合理的損得判断

## 認知原理

- 愛着心、誇り
- 故郷意識

## 互性原理

- 一緒に、支えあい
- プロセスを楽しむ

排他的行動  
の危険性

⇒ 運動衰退

非合理的創造判断  
やフェティッシュに  
走る危険性

モードのための手段としてのMM では、  
響感を得られない。

MMこそが、都市構築の目的なのである。

数値以上に  
その論理的組立が重要

何のためにこの町  
に生きてるのか  
何のために仕事を  
しているのか  
私は何のために生  
まれてきたのか

もっと愛を  
もっと誇りを  
もっと懐かしさを  
もっとふれあいを

皆が**愛着・誇り**を持ち多様な社会起業や市民活動が起きる都市にこそ、ユーザーイノベーション・知的産業などの先端企業立地が促され、居住や資産集積がなされる。

ex. 京都のユーザーイノベーション知的企業は京都を離れない。任天堂、村田、島津、オムロン、ワコール、タキイ、京セラ...

ex. 大阪にないのは、衰退しつつあるという**危機意識**。日本が東京大阪2大都市だという**楽天的記憶**。神戸にあるのは震災も忘れてしまう**記憶喪失**。京都にあるのは、何でも「京〇〇」と言い張る、強引な記憶

なぜ都市記憶を再生する必要があるのか？

→ **未来記憶**

= うちの**未来の暮らしのビジョン**を考えるには**記憶が必要**